



第68期 第2四半期 株主通信

平成21年4月1日▶平成21年9月30日

 **NFKホールディングス**
NFK Holdings Co., Ltd.

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第68期第2四半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 城 寶 豊

当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、国内外での在庫調整の一巡や政府の景気対策の効果などにより、一部の景気指標や業種において回復の兆しがみられたものの、経済活動は依然低水準で自律回復には遠い状態にあり、きわめて厳しい状況で推移致しました。当社の属する熱処理関連業界におきましても、企業業績悪化にともなう設備投資の冷え込みが一段と顕著になってきており、需要の減少による受注獲得競争の激化など、一段と厳しい経営環境が続いております。

当社におきましても、受注の落ち込みは深刻な状況となっており、グループ全体の資源配分の見直しや社会や顧客のニーズにあった新製品開発などが急務となっております。このような状況の中、当社グループでは、積極的な営業活動を展開して受注の確保に努めるとともに、引き続き販売管理費の抑制など収益体質の強化に取組み、徹底した経費削減に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高15億9千3百万円（前年同四半期比12.8%減）、営業利益は3千1百万円（前年同四半期比79.3%減）、経常利益は3千1百万円（前年同四半期比80.8%減）、四半期純利益は1億5千1百万円（前年同四半期比32.3%増）となりました。

通期の見通し

当社グループにおける今後の見通しとしましては、企業業績の悪化にともなう設備投資の冷え込みが一段と顕著になってきており、下期に向けた新規受注が低迷していることから通期連結業績予想は、昨年度を大きく下回る連結売上高28億2千万円、連結営業損失1億4千3百万円、連結経常損失1億3千9百万円、連結当期純損失1千1百万円を見込んでおります。

厳しい事業環境ではございますが、引き続き積極的な営業活動を展開して新規受注の獲得を目指すとともに、販売管理費の抑制などに努めてまいります所存です。

子会社間の事業譲渡（譲受）及び解散について

当社連結子会社である日本ファーンネス株式会社及び日本ファーンネス製造株式会社は、平成21年11月18日開催の各取締役会において、日本ファーンネス製造株式会社の事業全てを日本ファーンネス株式会社に譲渡することを決議致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

なお、日本ファーンネス製造株式会社は、事業譲渡後に解散することについても決議致しております。

1. 事業譲渡（譲受）及び解散の理由

日本ファーンネス製造株式会社の事業全てを日本ファーンネス株式会社に譲渡し、グループ再編による効率化を図り、収益力の強化ならびに一層の品質向上を目指すことと致しました。

2. 事業譲渡（譲受）の内容

（1）事業の内容

各種燃焼関連機器の設計ならびに製造

（2）譲渡（譲受）資産、負債の項目及び金額（平成21年3月31日現在）

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	64,288千円	流動負債	18,279千円
固定資産	18,457千円	固定負債	60,688千円
合計	82,746千円	合計	78,968千円

3. 譲渡（譲受）価額及び決済方法

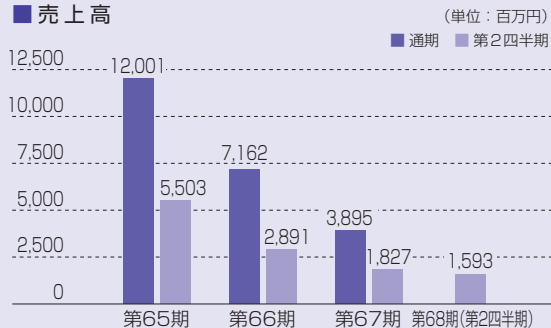
譲渡（譲受）価額は、平成21年12月31日時点での譲渡（譲受）資産及び譲渡（譲受）負債の帳簿価額を基準とし、両当事会社との間で調整の上、決定致します。また、決済方法につきましても、両当事会社との間で調整の上、決定致します。

4. 今後の見通し

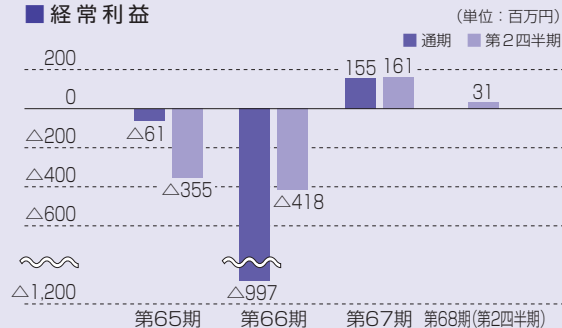
当該子会社の事業の全部譲渡と子会社の解散にともなう業績への影響は、当社100%子会社間で行われるものであることから、当社連結業績に与える影響は軽微であります。

連結決算ハイライト

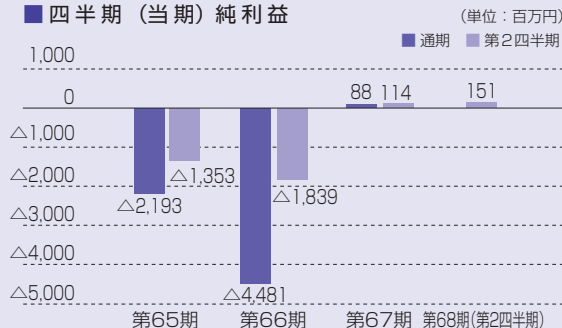
売上高



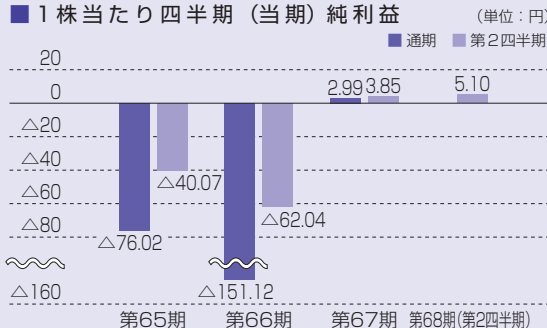
経常利益



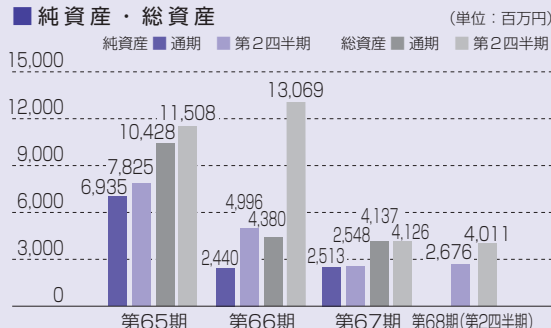
四半期（当期）純利益



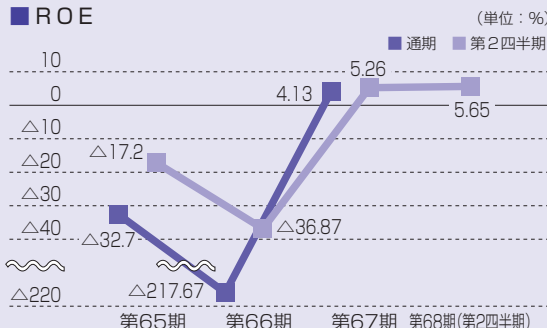
1株当たり四半期（当期）純利益



純資産・総資産



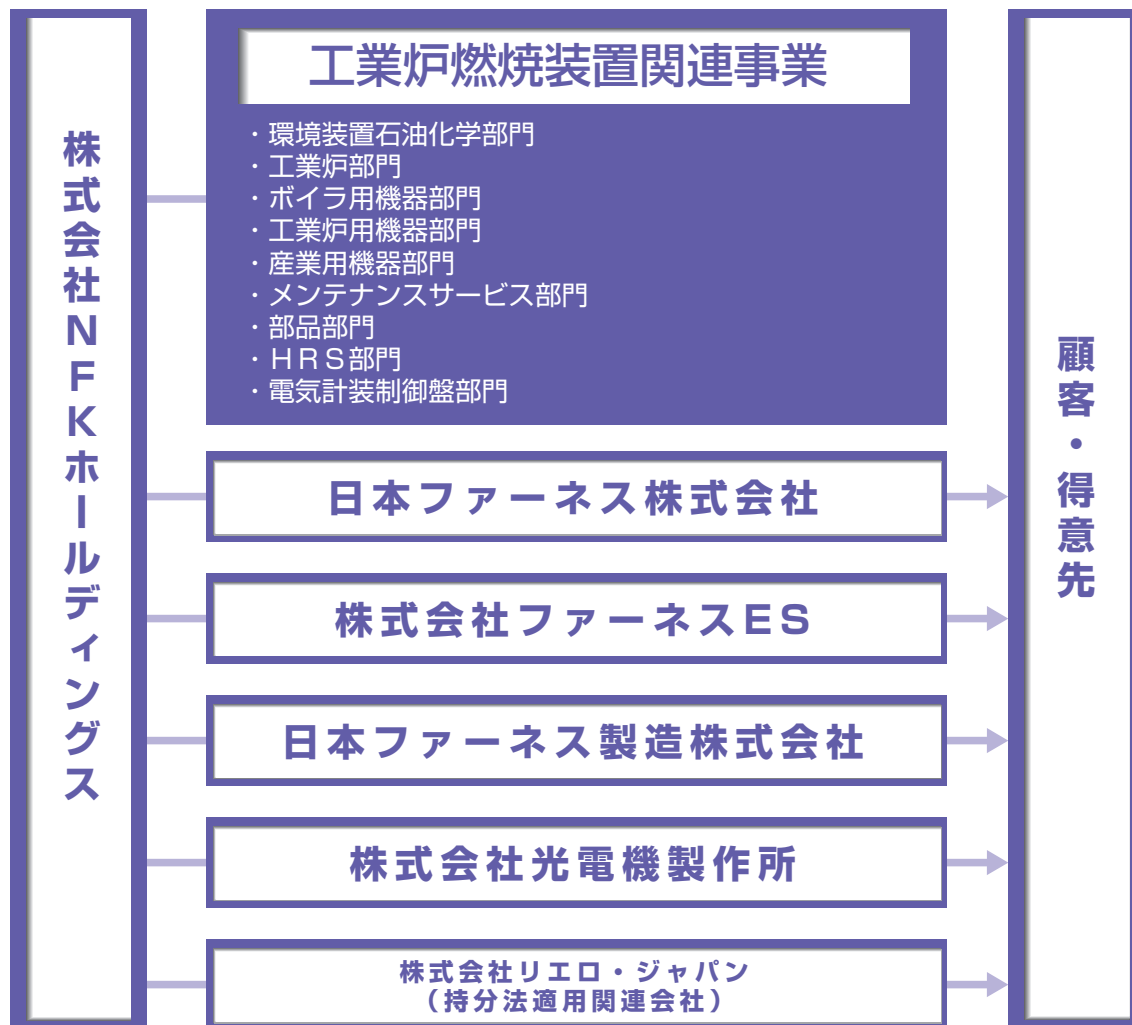
ROE



(注) 当第2四半期は、次のとおりROEを算出しております。

$$ROE = (1 \text{ 株当たり四半期純利益}) / (1 \text{ 株当たり純資産}) \times 100$$

事業系統図（平成21年9月30日現在）



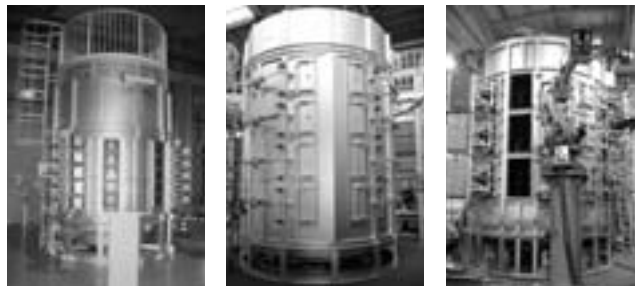
- (注) 1 (株)リエロ・ジャパンは持分法適用関連会社です。
2 NFK TECHNOLOGY SINGAPORE PTE LTD（非連結子会社）は平成21年12月現在清算中です。
3 日本ファーンネス製造株式会社の事業全てを日本ファーンネス株式会社に譲渡することを平成21年11月18日開催の各取締役会において決議致しました。なお、日本ファーンネス製造株式会社は、事業譲渡後に解散することについても決議致しております。

バスケットレス多段回転炉床式アルミニウム合金熱処理炉（BHTS）

《社団法人日本機械工業連合会より第26回（平成17年度）優秀省エネルギー機器表彰において経済産業大臣賞を受賞》

当熱処理炉はワークをロボットにて掴み、直接炉内へ装入・抽出することでバスケットを廃止し、従来のバスケット加熱に要した熱量をゼロにすること、および熱処理炉内の温度の均一化を図ることにより、大幅な省エネルギー、排出CO₂の削減、さらには設備の省スペース化を実現しました。2003年11月トヨタ自動車株式会社様への1号機納入を皮切りに、各自動車メーカー様および他業種メーカー様へ販売、納入することができ、現在では、国内外含め22ラインが生産稼働中です。

2009年日本国内・米国・カナダでの特許を取得しました。

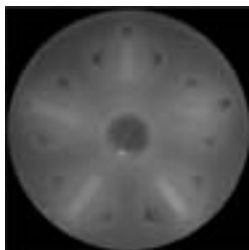


納入された各種回転炉の例

リジェネレイティブバーナ（HRSバーナ）



UXバーナ



UXバーナの火炎

HRS-UXバーナは、単一バーナでリジェネ運転を可能とする、シングルタイプのリジェネバーナです。長寿命でメンテナンス性を重視したコンパクト設計がなされているため、バーナの配置スペースが限られた管式加熱炉や取鍋予熱に最適です。蓄熱体の特性を最大限に生かし、高い効率で排熱回収を行うことで大きな省エネ効果を発揮できるだけでなく、高温空気燃焼の特長である炉内温度の均一化や低NOx性能に加え、炉内伝熱効率の向上も得られます。オール輻射の管式加熱炉に適用された例では、炉効率80%以上を達成しています。



MD-RTバーナ

MD-RTバーナは鉄鋼加熱炉で用いられるラジアントチューブ用に設計されたリジェネレイティブバーナで、最小圧損でありながら低NOx性能に優れ、Pull、Push、Push-Pull全ての通風方式に対応可能です。ラジアントチューブ表面の均一な温度分布を得られますので、チューブ寿命の延長にも効果的です。

超高温水蒸気発生装置

当社のリジェネバーナ技術で培った、セラミックハニカム蓄熱体による高効率熱交換技術を利用し最高温度1200℃の超高温常圧の過熱水蒸気を発生させる装置です。バイオマス、プラスチックなど有機系の固体廃棄物のガス化装置を構成する上で極めて有効なツールとなります。これを用いたガス化装置では、過熱水蒸気をガス化剤に使用するため、発熱量の高い合成ガスをタールフリーで得ることができます。

また、超高温水蒸気は、炭化、金属表面処理、殺菌、高速加熱処理などへの適用において極めて高いポテンシャルを持っています。



超高温水蒸気発生装置



石油加熱炉用低NOxバーナ



ロータリーキルン用3極燃料バーナ

加熱炉用バーナ・ロータリーキルンバーナ

石油加熱炉用バーナは、液体・気体燃料同時混焼が可能であり、低NOxバーナも供給いたします。セメント（焼石灰）用キルンバーナは、液体・気体及び固体燃料用バーナを供給いたします。

プロセス用管式加熱炉および廃液・廃ガス焼却設備

プロセス用管式加熱炉は石油精製、石油化学、一般化学におけるプロセス流体の加熱に用いられる炉です。当社では、自社製低NOxバーナおよび高効率蓄熱バーナ（リジェネレイティブバーナ）との組み合わせにより最適設計を行い、各種設備用に納入されています。

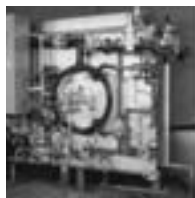
また、各種プロセスから排出される廃液・廃ガスを当社独自の燃焼技術を用いて安全に焼却し無害化する、廃液・廃ガス焼却設備も提供いたします。



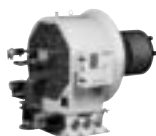
廃液・廃ガス焼却装置



管式加熱炉



ULN型ガス低NOxバーナ



LXバーナ

ボイラ用バーナ

ボイラ用バーナでは、液体・気体燃料の各専焼および同時混焼、あるいは廃油、廃ガスなどの多種燃料同時混焼に対応するバーナを最適に設計し提供します。また2009年度より、小型の炉筒煙管ボイラにも対応可能なLXバーナの販売を開始しました。いずれのバーナも優れた低NOx性と省エネルギー性を兼ね備えています。

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,812,697	2,915,564
現金及び預金	893,908	930,412
受取手形及び売掛金	1,423,095	1,413,026
仕掛品	305,692	319,454
原材料及び貯蔵品	145,820	146,119
その他	45,288	112,377
貸倒引当金	△1,107	△5,825
固定資産	1,198,955	1,221,813
有形固定資産	838,943	892,927
建物及び構築物（純額）	116,384	123,968
機械装置及び運搬具（純額）	5,438	10,616
その他（純額）	17,913	21,315
土地	699,206	737,027
無形固定資産	32,485	41,793
のれん	10,917	13,646
ソフトウェア	20,865	27,444
その他	702	702
投資その他の資産	327,526	287,092
投資有価証券	168,840	181,884
長期貸付金	896,000	896,000
その他	211,293	170,570
貸倒引当金	△948,607	△961,363
資産合計	4,011,653	4,137,377

科 目	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在
負債の部		
流動負債	715,917	952,859
支払手形及び買掛金	440,025	573,757
未払金	17,538	41,849
未払法人税等	32,876	18,366
賞与引当金	61,290	70,853
完成工事補償引当金	17,743	9,297
工事損失引当金	2,107	80
その他	144,334	238,655
固定負債	619,611	671,331
長期借入金	14,996	39,416
退職給付引当金	311,223	341,826
役員退職慰労引当金	25,196	21,211
再評価に係る繰延税金負債	261,105	261,105
その他	7,090	7,772
負債合計	1,335,528	1,624,190
純資産の部		
株主資本	2,298,591	2,147,413
資本金	2,091,252	2,091,252
利益剰余金	207,533	56,354
自己株式	△193	△192
評価・換算差額等	377,533	365,773
その他有価証券評価差額金	△4,478	△16,238
土地再評価差額金	382,011	382,011
純資産合計	2,676,125	2,513,187
負債純資産合計	4,011,653	4,137,377

■ 四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）
（単位：千円）

科 目	当第2四半期 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月 1 日から 平成20年9月30日まで
売上高	1,593,891	1,827,832
売上原価	1,168,691	1,228,867
売上総利益	425,200	598,965
販売費及び一般管理費	394,135	448,959
営業利益	31,064	150,005
営業外収益	5,165	14,423
営業外費用	5,164	2,851
経常利益	31,065	161,576
特別利益	171,167	50,486
特別損失	11,446	33,114
税金等調整前四半期純利益	190,786	178,949
法人税、住民税及び事業税	28,557	55,744
法人税等還付税額	△8,097	—
法人税等調整額	19,147	8,974
四半期純利益	151,179	114,230

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（第2四半期連結累計期間）
（単位：千円）

科 目	当第2四半期 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月 1 日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,231	△300,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,223	276,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,571	△346,022
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,115	△369,354
現金及び現金同等物の期首残高	866,462	944,877
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	833,346	575,523

会社の概況 (2009年9月30日現在)

■ 会社の概要

社 名 株式会社NFKホールディングス
設 立 1950年4月12日
資 本 金 20億91百万円
従 業 員 数 118名 (連結)
事 業 内 容 持株会社
(工業炉燃焼装置製造事業)

■ 事業所

本 店 神奈川県横浜市鶴見区尻手2-1-53

■ 国内子会社

会 社 名	所 在 地	資 本 金	議決権比率
日本ファース株式会社	横浜市鶴見区	250百万円	100%
株式会社ファース E S	横浜市鶴見区	20百万円	100%
日本ファース製造株式会社	静岡県掛川市	10百万円	100%
株式会社光電機製作所	大阪市西区	50百万円	100%

(注) 日本ファース製造株式会社の事業全てを日本ファース株式会社に譲渡することを平成21年11月18日開催の各取締役会において決議しました。なお、日本ファース製造株式会社は、事業譲渡後に解散することについても決議しております。

■ 役 員

代表取締役社長 城 寶 豊
取 締 役 久保田 隆
取 締 役 田 中 耕
* 取 締 役 宮 原 英 輔
監 査 役 保 田 力
* 監 査 役 山 岸 照 寛
* 監 査 役 光 成 卓 郎

(注) *印の取締役及び監査役は、社外取締役及び社外監査役であります。

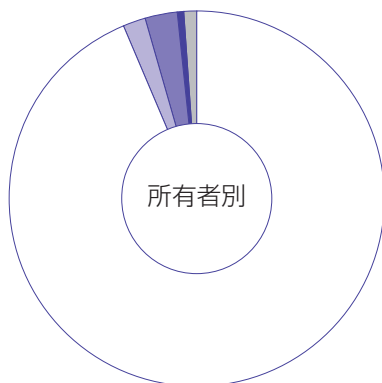
■ 株式の状況

発行可能株式総数 118,610,000株
発行済株式総数 29,653,342株
株主数 8,639名

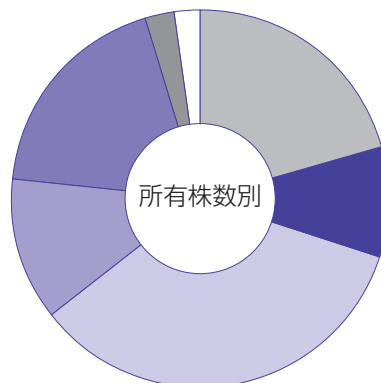
大株主（上位10名）

株主名	所有株数（百株）	持株比率（%）
荒川 茂俊	6,510	2.19
大阪証券金融株式会社	5,541	1.86
渋谷 実	5,001	1.68
藤井 明浩	4,572	1.54
斉藤 征夫	4,100	1.38
外尾 暁裕	2,900	0.97
永山 正	2,730	0.92
川瀬 靖雄	2,600	0.87
株式会社ボネール	2,400	0.80
高木 実	2,297	0.77

■ 所有者別・所有株数別分布状況



個人・その他 93.64% 金融機関 1.93%
その他国内法人 2.83% 外国人 0.59%
証券会社 0.99% 自己株式 0.00%



1,000単元以上 20.68% 500単元以上 9.56%
100単元以上 34.38% 50単元以上 12.24%
10単元以上 18.66% 5単元以上 2.32%
1単元以上 2.11% 1単元未満他 0.00%

株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日
・定時株主総会
・中間配当
・期末剰余金配当

株主名簿管理人

郵便物送付先
(電話参照先)

単元株式数
公告方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで
毎年6月下旬

毎年3月31日
毎年9月30日
毎年3月31日

東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに
日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っており
ます。

100株
電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

公告掲載URL (<http://www.nfk-hd.co.jp>)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行
株式会社にお申出ください。

・株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、
株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定して
いない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部を
ほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿
にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する
通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合
がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前と
して登録されている文字については、お取引の証券会社等に
お問い合わせください。

ホームページURL >>> <http://www.nfk-hd.co.jp>

